

令和7年度いちかわTMO講座

【講座の概要】

平成20年より、まちづくりのリーダー（タウンマネジメントオフィサー／TMO）を養成する場として、市川市と共催で「いちかわTMO講座」を開催している。本年度、19期実施中。市川市、包括協定による大学と連携して多彩な講座を開催。受講生は、地域リーダーに必要な「知と技法」「場づくり・関係づくり」を学ぶ。

市川市との共催事業である本講座と、本講座の修了生した希望者によるアドバンス講座を毎年実施している。本講座修了生は約300名、アドバンス講座修了生は約150名。

《包括協定大学》千葉商科大学、和洋女子大学、千葉工業大学

【18期の本講座】プランにする

受講生は、市民活動、NPO、地域事業者、医療・福祉・子育て関係者、会社リタイア組等、様々な分野から経験を積んだ人たちが集まってくる。そして講師及び行政担当者、大学教授らとのセッションに加え、受講生同士の切磋琢磨を通して、それぞれが自身の強みと伝える力をカタチにし、これを発表する。

■ 受講生 12名（17歳～55歳）

■ 期間 R7年9月6日(土)～R8年2月28日(土) 講座12回、発表会2回

■ 講座概要

○市幹部職員の講義3回（NPO・市民活動、危機管理、カーボンニュートラル）

○大学教授の講義3回（課題表現、コミュニティビジネス、ICT技術）

○ONPO講師の講座6回（ワークショップ、市民活動事例）

【本年度のアドバンス講座】旗揚げ

アドバンス講座では公の発表会がある。受講生はそれぞれのプランを研ぎ澄まし、独自のものにして、行政幹部、事業関係者、一般市民を前に発表する。

■ 受講生 6名

■ 期間 R8年3月25日(水)～6月20日(水) 講座7回

■ 講座概要 ○有識者とのディスカッション2回（市幹部職員、中小企業診断士）

○ONPO講師によるワークショップ5回

■ R8年6月20日(土)に修了発表実施



【これまでの成果】

講座修了生300名の半数位は実際に地域で活動中。例えば「いちかわフードバンク」。TMO12期生中心のNPOが運営し、市庁舎で毎月1回フード配布を行う。今や地域行政は市民の力無しにまわらない時代。TMOは市川においてコミュニティー支える一つのインフラになっている。

【受講者の声】

- ✓ TMO講座は知識やスキルだけでなく、自身と向き合い踏み出す勇気を与えてくれる。
- ✓ 同期のメンバー全員が、見違えるほど頼もしく成長していく姿を目の当たりにした。

【課題】

TMO講座の知名度を高めるPR活動。